**17. be glad to～ ～して嬉しいです。**

目標：be glad to ~の用法を使えるようにする。

対象：中学2年

時間：25分

準備：写真とカード

**このタスクの進め方**

○Pre-task

1.写真を見せながら、be glad to ~について、口頭導入する。

|  |
| --- |
| T: Look at this picture.S: Is he a baby?T: That’s right! He is a baby. He is very cute.My brother got a baby!! I heard it this morning. I’m happy. So I’m glad to hear that. |

2.黒板にbe glad to~の文を書いて、生徒にbe glad to~の意味を気が付かせる。

○Task

1. 4人組を作り、Work sheet を用意する。
2. 神経衰弱の要領で、生徒がカードを２枚引き、カードがそろった場合は、他の３人がそのカードに書かれている文を読み上げる。カードがそろわなかった場合は、元に戻し、次の人がカードを引く。
3. カードを引き当てた人が、顔マークに応じて、I’m glad to hear that. か、I’m sad to hear that. のどちらかの文を言い、きちんと言うことができたらカードをもらう。
4. たくさんカードを集めた人の勝ち。

**ワンポイント・アドバイス**

・ルール説明をわかりやすく、簡潔なものにする。活動にたくさん時間が取れるようにメリハリを持って行う。